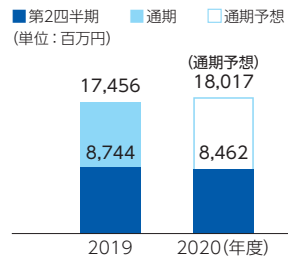


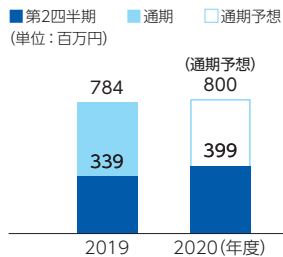
売上高

8,462 百万円
(前年同期比 3.2%減)



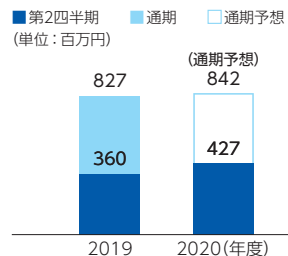
営業利益

399 百万円
(前年同期比 17.5%増)



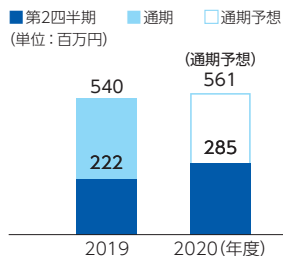
経常利益

427 百万円
(前年同期比 18.6%増)



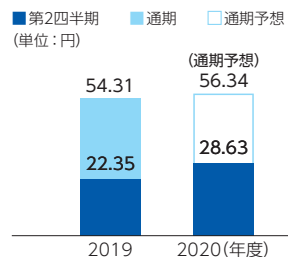
四半期(当期)純利益

285 百万円
(前年同期比 28.1%増)



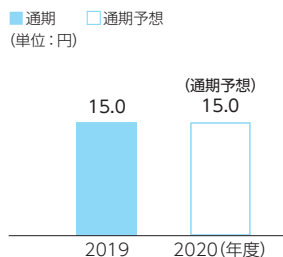
1株当たり四半期(当期)純利益

28.63 円



1株当たり配当金

15.00 円



株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式の総数 11,200,000株
株主数 4,223名
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)	
安藤 文男	1,515	15.21	現 当社代表取締役社長
アイエックス・ナレッジ株式会社	1,043	10.48	
株式会社三菱UFJ銀行	214	2.15	
株式会社千葉興業銀行	203	2.04	
有限会社エム・ビ・エス	200	2.01	
三井倉庫ホールディングス株式会社	200	2.01	
GMOクリック証券株式会社	184	1.85	
春日 正好	160	1.61	現 当社顧問
光通信株式会社	150	1.51	
塚田 克巳	94	0.94	

(注) 1.当社は、自己株式1,239,462株を保有しておりますが、上記株主からは除いております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月に開催
同総会議決権行使株主確定日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日(中間配当を行う場合)
その他の基準日 上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定いたします。

公告掲載URL 当社ホームページ
<https://www.ikic.co.jp/>
に掲載いたします。(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都府中市日鋼町1番地1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場金融商品取引所 東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)

アイエックス・ナレッジ株式会社

〒108-0022 東京都港区海岸 3-22-23
TEL.03-6400-7000 (代表) FAX.03-6400-7900

アイエックス・ナレッジ株式会社

REPORT

第43期 第2四半期

2020年4月1日～2020年9月30日

株主通信



IX Knowledge Inc.



代表取締役社長
安藤 文男

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。依然として新型コロナウイルス感染症の収束は見通せず、個人消費や企業活動は停滞し、先行き不透明な状況が続いております。そうした中、当社は従業員やパートナー企業の皆様の安全を確保しつつ事業活動を推進してまいりました。

このたび、アイエックス・ナレッジ株式会社2020年度第2四半期(2020年4月1日~2020年9月30日)の決算を終了いたしました。ここに業績・トピックスなどをご説明する「株主通信」をお届けいたします。

本誌を通じて当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

<2020年度第2四半期のトピックス>

- 4月**
 - 管理・事業・営業の各部門の組織変更実施
 - 新入社員77名入社
 - DSB情報システム社とUiPath RPA プラットフォーム サブリセラー契約締結
- 5月**
 - 情報システム会社様1社から表彰
- 6月**
 - 大手ベンダー様1社から感謝状
- 7月**
 - 大手メーカー様1社から表彰
 - ブロックチェーン活用オンラインセミナー開催
 - NTTデータ・ビズインテグラル社と「Biz」®(「ビズインテグラル」)の販売パートナー契約締結
- 9月**
 - 「メル訓クラウド」オンラインセミナー開催
 - 「企業におけるニューノーマルの推進」オンラインセミナー開催
 - “サステナブルな漁業”の実現を目指す「Ocean to Table Council」を当社含む7社で設立
 - 「Ocean to Table Council」としてジャパンインターナショナルシーフードショーに共同出展、セミナー開催

■ 損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2020年度 第2四半期累計)	前第2四半期 (2019年度 第2四半期累計)
売上高	8,462	8,744
売上総利益	1,597	1,638
営業利益	399	339
経常利益	427	360
税引前四半期純利益	423	329
四半期純利益	285	222

■ 貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

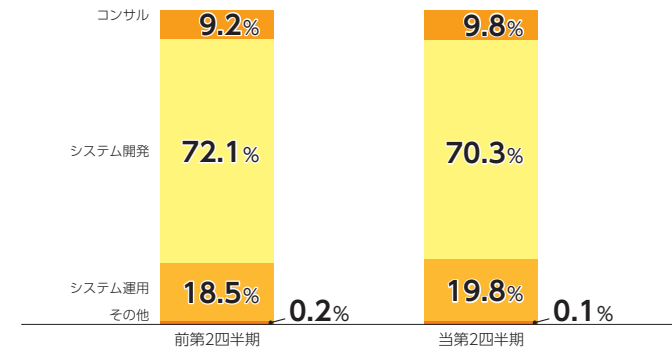
科目	当第2四半期末 (2020年度 第2四半期会計)	前期末 (2019年度)
資産の部		
流動資産	7,089	7,016
固定資産	2,873	2,741
資産合計	9,962	9,757
負債の部		
流動負債	2,271	2,308
固定負債	2,515	2,504
負債合計	4,786	4,812
純資産の部		
株主資本	4,921	4,786
評価・換算差額等	254	159
純資産合計	5,175	4,945
負債・純資産合計	9,962	9,757

■ キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

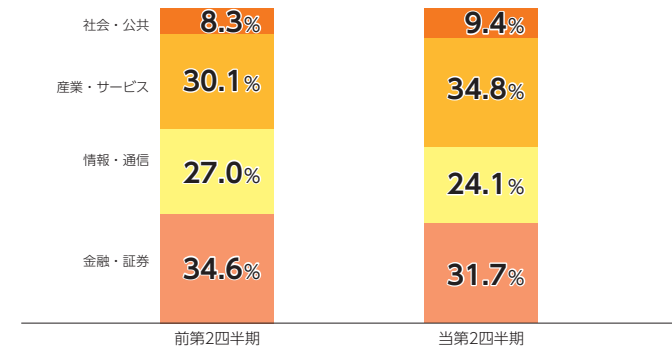
(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2020年度 第2四半期累計)	前第2四半期 (2019年度 第2四半期累計)
営業活動によるキャッシュ・フロー	375	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△168	△216
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,123	3,594

■ 品目別売上高比率



■ 業種別売上高比率



ポイント解説

■ 損益計算書

売上高は、車載組込みシステム、総合物流企業、化学メーカー、化粧品メーカーのシステム開発案件などの受注が拡大しましたが、前年度の大型案件の収束をカバーするには至らず、282百万円(前年同期比3.2%)の減少となりました。一方、利益面では、事業の選択と集中や業務改善による事業基盤強化の取り組みと販管費の抑制により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増加しました。

■ 貸借対照表

前期末に比べ、資産については主に「現金及び預金」、「投資有価証券」の増加により増加、負債については、「未払金」、「その他」に含まれる「未払消費税等」の減少により減少し、自己資本比率は、50.7%から52.0%となりました。

■ キャッシュ・フロー計算書

営業活動で得た資金を投資活動(固定資産の取得)および財務活動(配当金の支払、長期借入金の返済)で支出した結果、現預金残高は4,123百万円となりました。